

平成27年度 水道・下水道事業会計 予算概要 (案)

平成27年2月23日
第1回経営審議会 資料1

● 上下水道部の基本的役割

・おびひろ上下水道ビジョン2010の目標達成へ

～ 将来の目指すべき方向 ～

いつでも安全に、安心して利用できる
災害にも強い上下水道を目指します

《基本理念》

1. 安全で安心できる施設づくり
2. 環境にやさしい取り組み
3. 利用者サービスの向上



政策・施策評価 (まちづくり通信2014)

● 4-2-2 水道水の安定供給
総合評価 A (成果指標 a、市民実感度 a)

● 4-2-3 下水道の整備
総合評価 A (成果指標 a、市民実感度 b)

◆ 成果指標 ◆

指標名	目標値(H31)	目標値(H27)	H27末見込
水道管路の近代化率	89.7%	86.3%	87.7%
水道有収率(維持)	90.6%	90.6%	92.0%
汚水整備率	98.8%	98.4%	99.0%
雨水整備率	71.3%	69.2%	69.6%

■ 上下水道部 予算編成における重点 ■

(1) 災害に強い施設整備

【配水管整備事業】(水道)

H27事業費 992,100 千円

水道管更新などの整備を進め、耐震性の向上など、水道水の安定供給を図るもの。

- ・ 管路近代化事業 (延長 10,761m)
- ・ 道路工事関連移設更新 (延長 3,113m)

H27.3補正事業費 72,400 千円

【公共下水道整備事業(汚水・雨水)】(下水道)

H27事業費 357,500 千円

道路工事等に伴う汚水管整備のほか、降雨時に浸水の恐れがある地区などに雨水管整備を行うもの。

- ・ 汚水管整備事業 (延長 310m)
- ・ 雨水管整備事業 (延長 2,012m) (うち 延長 706m H27.3補正)

【下水道長寿命化事業】(下水道)

H27事業費 170,000 千円

ライフサイクルコストの縮減と事故未然防止を目的に、下水道管渠の長寿命化計画により、計画的な改修・更新を行うもの。

- ・ 長寿命化工事 (延長 1,400m)
- ・ カメラ調査 (延長 14,100m)、実施設計委託

<新規>【下水道空洞調査事業】(下水道)

H27事業費 10,000 千円

路面陥没を未然に防止するため、地中レーダーにより空洞を確認するもの。

- ・ 車道部 (延長 40,500m)、歩道部 (延長 10,000m)



(2) 計画的な施設・設備の更新

【稲田浄水場設備機器更新事業】(水道)

H27事業費 446,300 千円

水道の根幹施設である稲田浄水場施設の老朽化対策として、設備機器の更新を実施するもの。

- ・ 継続費設定 (平成27～29年度、総事業費1,401,060千円)
- ・ 送配水ポンプ設備・送配水動力・計装、監視制御改造、受変電設備

【南町配水場改築事業】(水道)

H27事業費 304,877 千円

耐震補強が必要と診断され、施設全体の老朽化が著しいことから改築するもの。

- ・ 継続費3か年目(平成25～27年度、総事業費 1,107,417千円)
- ・ 南町配水場(2池)、受変電盤、ポンプ室等の改築

【中島配水場整備事業】(水道)

H27事業費 175,886 千円

中島取水場の水質的課題及び農繁期における水量不足を抜本的に解消するため、十勝中部広域水道企業団から受水するための整備を実施するもの。

- ・ 橋梁添架 330m

【帯広川下水終末処理場施設改修事業】(下水道)

H27事業費 212,600 千円

老朽化が進んでいる処理場施設の更新を行うもの。

- ・ 中央監視装置更新工事 継続費3か年目(平成25～27年度、総事業費775,950千円)
- ・ 長寿命化計画策定等

【インフラ基本計画策定事業】(水道・下水道)

H27事業費 21,500 千円

(水道)管路老朽度診断及び更新計画、構造物・設備情報整備・長期更新計画策定
(下水道)管渠長寿命化基本構想、維持管理基本計画策定

- ・ 平成28年度計画策定予定

【汚水処理の最適化】(下水道)

下水道処理経費の縮減、既存施設の有効活用など、効率的で持続可能な事業経営を目的に、帯広圏域処理施設の最適化を図り、下水道処理統合を将来に見据えた取り組みを行うもの。

(3) 健全経営の推進

【ペットボトル水販売事業】(水道)

H27事業費 5,790 千円

農畜産物や自然環境の基本となる「帯広・十勝にしかない安全でおいしい水」という価値や魅力を、ペットボトル水の製造・販売を通じてPRするもの。

- ・ 製造 90,000本、販売 60,000本、ペットボトルラベルH26更新予定

【水道・下水道技術の継承】(水道・下水道)

- ・ 次の世代に技術の継承が図れるよう、各種研修を強化
- ・ 事務手続きの統一化・効率化等



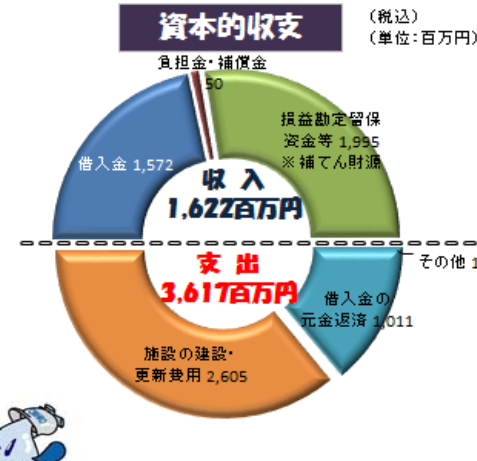
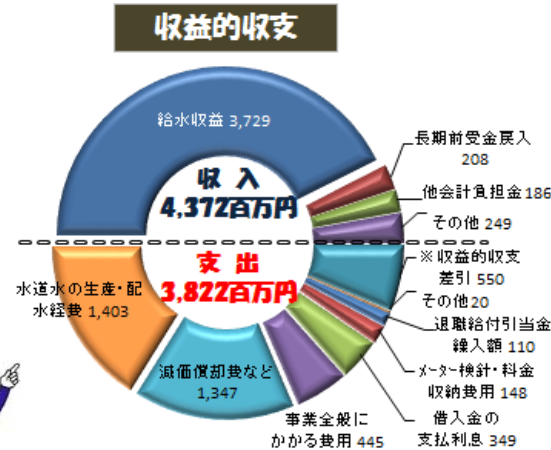
水道事業会計

収入予算規模 5,994,815 千円
(前年 5,783,813 千円 3.6% 増)
支出予算規模 7,439,737 千円
(前年 7,243,499 千円 2.7% 増)

純利益(税抜) 381,022 千円
(前年 208,115 千円 83.1% 増)
内部留保資金 1,119,006 千円
(前年 1,421,040 千円 21.3% 減)

水道料金 収入 3,704,555 千円
(前年 3,698,868 千円 0.2% 増)
建設改良費 支出 2,605,624 千円
(前年 2,261,188 千円 15.2% 増)

※ 前年予算は6月補正後予算



下水道事業会計

収入予算規模 6,565,756 千円
(前年 6,710,706 千円 2.2% 減)
支出予算規模 7,878,607 千円
(前年 8,150,827 千円 3.3% 減)

純利益(税抜) 410,673 千円
(前年 363,572 千円 13.0% 増)
内部留保資金 444,938 千円
(前年 533,203 千円 16.6% 減)

下水道使用料 収入 2,879,430 千円
(前年 2,909,795 千円 1.0% 減)
建設改良費 支出 851,368 千円
(前年 1,237,609 千円 31.2% 減)

※ 前年予算は6月補正後予算

